

## 1. 油断禁物！第三次産業の労災

厚生労働省では、毎年度労働災害の発生状況を公表しています。平成25年度は、死亡災害、死傷災害、重大災害(一度に3人以上が被災する災害)の発生件数が4年ぶりにいずれも前年を下回るという結果でしたが、休業4日以上および死亡となった死傷災害の発生状況をみると、第三次産業の占める割合は25年度で45.9%、おそらく一般的に想定されるよりも高いであろう割合の上、平成15年の35.3%から伸び続けているという状況がみられます。本調査における第三次産業とは、商業、金融・広告業、通信業、保健衛生業、接客・娯楽業など農林水産業や工業以外の複数業種であり、データも複数業種の合計値ではありますが、例えば25年度の商業(卸・小売業など)の死傷災害被災人数は16,863人で、陸上貨物運送業の14,190人を超え建設業の17,189人に続いており、合計だから、と簡単にはいえないのであるでしょうか。

25年度の第三次産業における死傷病災害の原因となった事故のタイプをみると、「転倒」(15,971人)、「動作の反動・無理な動作」(8,150人)、「墜落・転落」(6,262人)がトップ3であり、これらの合計で死傷災害被災人数の合計51,420人のうち60%近くを占めています。具体的には、床に置かれたものにつまずいて転んだ、重い荷物を運ぼうとして腰や膝を傷めた(動作の反動・無理な動作)、脚立に乗っていて落ちた、等です。これらは職場に限らず「あたりまえ」に起きることで、むしろこのような「あたりまえ」の危険は「職場の安全対策をしっかりと検討しよう」という際には見過ごされているのかもしれませんが。一方、これらのリスクへの対策は、危険な場所のチェックや「整理整頓」といったごく単純な取り組みでも効果が期待できるものでもあります。サービス業の事業所で年間30,000人以上が休業4日以上を負傷を被っている、という事実をみると、決して小さなリスクとはいえません。皆様の職場では、このような地道なリスク管理はされていますか？

## 2. マタニティ・ハラスメントの判断

妊娠を理由に降格されたのは男女雇用機会均等法に反するとして、理学療法士の女性が運営元に対し損害賠償などを求めた訴訟で、10月23日に最高裁第1小法廷は本人の承諾がないような降格は原則として均等法に違反するという判断を示し、敗訴とした。2審・広島高裁判決を破棄し、審理を高裁に差し戻しました。最高裁が違法なマタニティ・ハラスメントに該当するかについて判断を示すのは初めてで、今後はこれが判例となり、違法かどうかの判断の目安となります。

女性は勤務先のリハビリテーション科副主任となりましたが、第2子を妊娠し軽い業務への転換を希望し翌月付で副主任の地位を外され、育休取得後に別の部署に復帰しましたが副主任にはなりません。最高裁第1小法廷は「負担軽減のための配置転換を契機としていても、降格は原則違法」と指摘し、適法となるのは「本人の自由な意思に基づいて承諾したと認められるか、降格させなければ適正配置の確保ができず業務上の支障が生じるような特段の事情がある場合」に限られるとしました。自由な意思に基づいて承諾したとは認められないので差し戻して、今度は業務に支障が生じるような特段の事情があったか、なかったかを争うことになるでしょう。

女性社員が妊娠、出産をしたときには負担の軽い部署に異動と、あくまでも善意から該当者全員に対応している会社もありそうですが人はそれぞれですからね、今後は画一的な対応でなく個々人の意向を十分に組み込んだ上での対応が必要になりそうです。



## 3. 年末年始のご案内

今年の年末年始休暇は12/29～1/4までとさせていただきます。

### ● 編集後記 ●

今年6月に世界遺産に登録され今、最もアツいスポット『富岡製糸場』に行きました。昔の映画『あゝ、野麦峠』の松田聖子の過酷な環境を想像していましたが、富岡製糸場は武士の娘さんなどが働く国営の模範工場、労働時間や休みもしっかり取ることができた公務員。この女工は一種のステータスだったと聞いて驚きました。技術の差を4つにレベル分けし、処理が早いグループは最も給与が高く、現代の人事評価による給与差も設けていたそうです。明治初期使用されていた操糸場の機械はそのままの状態で見ることができ、目には信じがたい。無料ガイドさんにもたくさんいらして細かく説明してくれましたよ。(秋山)

あおぞら人事・労務サポート  
 特定社会保険労務士  
 秋山幸子 (登録 NO.13050514)  
 三鷹市下連雀 3-38-4  
 三鷹産業プラザ 307  
 TEL:0422-24-8625  
 FAX:0422-24-8605  
 E-mail: info@aozora-sr.com  
 URL: www.aozora-sr.com

責任編集: 社会保険労務士  
 秋山・隅谷・玉川・安部(武蔵野統括支部)